

上北沢桜並木 現場見学報告

はじめに

烏山地域で区民と区が一緒にまちづくりを進めている「烏山ネット・わあ～く・ショップ」(下記囲み参照)では、月1回の定例会で意見交換や情報交換を行っています。

昨年、ある参加者より、「自転車や車などで傷つけられたり、老朽化も進んでいる上北沢の桜並木を守りたい」という提案がありました。桜並木を守るには、個々の木について考えるだけではなく、並木全体や道路整備についても検討が必要だということで、一度区の担当者と相談してみようということになりました。

そこで、植物の専門家や区役所職員、また「地域風景資産」としてこの桜並木を推薦した方にも呼びかけ、現場見学を行いました。



土も堅く環境は良くないとのこと



現場見学に集まった区民、職員、専門家の方

烏山ネット・わあ～く・ショップとは・・・

烏山地域(世田谷区烏山総合支所管内：給田、上祖師谷、北烏山、南烏山、粕谷、八幡山、上北沢)のまちづくりについて区民と区、事業者が一緒に考え、バリアフリーの整備などを実現していくこうとする取り組みです。人と人をつなぐ「ネットワーク」と、活動しながら検討する「ワークショップ」をかけてつくった名前です。

『できることから実現しよう』を合い言葉に、これまで、駒大グランド前バス停整備や、音声信号機設置、歩道の段差解消などの整備を実現してきました。

現在、区民や区職員の約40名が月1回の定例会を開いて情報交換や意見交換を行っています。

地域風景資産とは・・・

区では、平成11年に施行された『世田谷区風景づくり条例』に基づき、地域の身近な大切にしたい風景を、区民の手で守り・育て・つくりあげていくために「地域風景資産」活動を進めています。

平成13年から1年間かけて、推薦者と区民ボランティアによる風景づくりサポーターが、「風景づくりプラン」を作成してきました。そして、区民と区職員からなる選定人によって、現場を確認しながら選定評価を検討してきました。平成14年11月には「公開選定会」が開催され、地域風景資産として36件が選定され、その中のひとつとして上北沢の桜並木も選ばれました。

◆現場見学 1

日時：平成 15 年 5 月 6 日（火）午後 1 時 30 分～

内容：羽根木緑化相談所の森さん（樹木医）にもご参加

いただき、一緒に見学しました。その結果、現状では、かなり弱っている桜が多いことがわかりました。「桜の幹にシートが巻き付けてあるが、そこに蟻などが出入りしていることもあります、一度シートを開けて中の状態を見てはどうか」とのご指摘がありました。

現場見学会の後、区の方が造園会社さんに連絡して相談したところ、一度シートをあけてみようということになりました。



このような状況はかなり樹木が弱っている証拠とのことでした

◆現場見学 2

日時：平成 15 年 5 月 30 日（金）午前 10 時～

内容：この桜並木の手入れをしてくださっている造園会社さんより、どのような趣旨で

この手入れを行っているのか、説明してもらいました。



まずはシートをはずします。



空洞（うろ）に詰められていたピートモス（水苔が腐食化したもの）を取り除くと、細かい根っこが何本も出てきました。

この根っこの中の 1 本でも、太く長く成長して地下にまで達し、木を支えるようになることを期待した治療だということでした。しかし、期待通りの効果があるかどうかは、今のところわからないとの指摘もありました。